

## 建築構造工学研究室

卒業生の皆さん、元気でご活躍のことと思います。2026年4月27日時点で、研究室のスタッフは、岡崎太一郎教授、松井良太准教授の2名です。学生は、博士課程1名、修士課程8名、研究生3名、卒論生3名の計15名です。昨年まで、最大人数を更新続けていましたが、久しぶりに人数が減りました。

昨年度は、台湾との国際共同研究で、ブレース付ラーメン架構の振動台実験を実施し、8名の学生が参加しました。再整備した実験室を活用したブレース付ラーメン架構の実験、鋼と木または鋼と鋼の接着接合試験、鋼材のひずみ硬化とひずみ時効を詳しく知るための検鏡試験（材料科学部門の池田先生と共同）など、一年中、実験していました。時刻歴応答解析に用いる減衰モデルと、ブレースの履歴モデルに関する研究も進みました。今年度は、ブレース付ラーメン架構の実験をたくさん実施する予定です。研究室の基本方針「週50時間以上在室する／学生時代にしか基礎的な勉強ができない」を維持しますが、工学部生協が夕方営業をやめたこともあって、夕食時間が、皆の終業時間になりました。

研究室のホームページ(<http://hokudai-str-eng.jpn.org/>)の充実に努めています。実験やイベントを写真付きで掲載し、実験のタイムラプス映像なども楽しんでいただけたらと思います。一度ご覧ください。

いつでも大歓迎、サプライズ大歓迎ですので、札幌へお越しの際は是非とも研究室にお立ち寄り下さい。皆さまの益々のご健勝とご健康を願ってやみません。

